

学 校 説 明 会 の ご 案 内

1 期 日

第1回 令和7年 9月27日(土) 13:40~16:30

第2回 令和7年 10月18日(土) 12:40~16:00

2 場 所

北海道石狩翔陽高等学校 第2体育館 他

3 時 程 (各日の実施時間・内容が異なっておりますのでご注意ください)

9/27 (土)		10/18 (土)	
13:00	受付 (生徒玄関からお入りください)	12:00	受付 (生徒玄関からお入りください)
13:40 ~14:30	学校説明 (第2体育館)	12:40 ~13:30	フリー授業参観
14:40 ~15:20	体験授業	13:40 ~14:30	学校説明 (第2体育館)
15:30	部活動見学 (任意)	14:40 ~15:00	課題研究等発表披露
16:30	全日程終了	15:00	部活動見学 (任意)
		16:00	全日程終了
※体験授業について、別紙「体験授業一覧」を参考に第3希望まで申し込みフォームに入力ください。各講座受け入れ可能人数に上限があるため、ご希望に添えない場合があることをご了承ください。		※フリー授業参観について、時間も参観場所も完全にフリーで行います。受付場所に授業実施場所等の案内がありますので自由に見学してください。 ※課題研究等発表披露は、総合学科特有の生徒による探究学習の発表を予定しております。	

※時程は当日の進行状況により前後することがございます。

※全日程終了(閉会式)後、個別相談の機会を設けております。希望される場合は、事前の申し込みフォームにて、または当日直接お申し出ください。

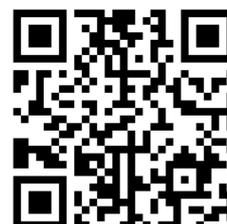
※部活動見学については、大会出場等で当日活動を行っていない部活動もございますので、ご了承ください。

4 申 込 方 法

下記QRコードまたはリンク(本校ホームページにも掲載)からGoogle Formsに入り、必要事項を入力し送信してください。

※申し込みフォーム <https://forms.gle/RXd9NKa4TCaC3reTA>

※本校HP <http://www.ishikarishoyo.hokkaido-c.ed.jp/>



5 その他

(1) 申し込み締め切り

- ・第1回（9月27日開催分） 9月16日（火）まで
- ・第2回（10月18日開催分） 10月14日（火）まで

※どの回も申し込みは今から可能です。

※特に第1回に関して、体験授業の割り振りの関係上、期日が過ぎてからの申し込みは受けかねますのでご注意ください。

※申込み後にキャンセル等が必要になった場合は、本校（Tel：0133-74-5771 担当：高橋）までご連絡ください。

(2) 参加される方は、上履き及び靴袋をご持参ください。

(3) 本校の駐車場には限りがございますので、可能な限り公共交通機関でお越しください。

(4) 中学生の方の服装、来校手段等については本校の指定はございませんので、各中学校・各ご家庭の判断でご来場願います（自転車にてご来校される場合は、担当者の指示に従い指定の場所に駐輪してください）。

<別紙> 体験授業一覧

講座 No	教科	講座名	実施内容	人数 上限
1	国語科	高校生版 文学を読む	文学作品の深い読解をします。	20名
2	地歴公民科	学校周辺の巡検	取付道路わきの砂山の巡検！身近なところに探究活動のヒントが！	15名
3	数学科	高校への数学	中学数学の知識を使って、高校数学の入門的な内容を体験しよう！	40名
4	理科	化学反応は結婚なり	時計反応を用いて、温度と濃度の違いによる反応速度の違いを考察しよう！。	20名
5	理科	ドローンで物理	ドローンの撮影画像からドローンの運動を解析&ドローンを活用して作用反作用の法則を理解しよう！	10名
6	保健体育科	スポーツマネジメント	スポーツチームのイベントを企画しよう！	30名
7	芸術科/工芸	生活工芸	手びねりによる器の作成に挑戦！	15名
8	芸術科/書道	書に親しむ	筆で書いてみましょう！	15名
9	芸術科/音楽	音楽リズム	歌に合わせて体を動かす「リトミック」に挑戦してみよう！また、初心者向けのピアノの授業も行います。	15名
10	外国語科	英語で計算にトライ！	カルタ取りのように、グループで英語を使って計算しよう！	24名
11	家庭科	保育実践	保育の学習を体験してみよう！	24名
12	家庭科	フードデザイン	豆腐白玉みたらし団子を作ろう！	24名
13	看護・福祉科	高齢者体験をしてみよう！	高齢者体験を通して、福祉や看護について知ろう！	16名
14	看護・福祉科	ベッドメイキングに挑戦！	ベッドメイキングは介護のスタートです。翔陽で介護技術を身につけよう！	24名
15	商業科	はじめての簿記	簡単な簿記のしくみや流れを学び、電卓を使用して色々と計算をしてみよう！	30名
16	商業科	マーケティング	モノを売るための仕組みを考えよう！	30名
17	情報科	VR・プログラミング体験講座	MetaQuest3（VR ゴーグル）を使用したVR体験と Micro:bit を使用したプログラミング体験！	20名
18	情報科	いろいろな PC 操作	さまざまな PC ソフトを使ってみよう！	30名

石狩翔陽で夢を 叶えま 翔陽!

URL <http://www.ishikarishoyo.hokkaido-c.ed.jp>
E-mail ishikarishoyo-z0@hokkaido-c.ed.jp

令和7年度 第2号
北海道石狩翔陽高等学校
総合学科情報誌
〒061-3248
石狩市花川東128-31
TEL 0133-74-5771
FAX 0133-74-8741



→学校 HP はこちらの
QRコードからもご覧
いただけます。



公式 YouTube



公式 Instagram

中学生・保護者向け学校説明会
第1回 9月27日(土)
第2回 10月18日(土)

It's 翔 time!!

今年度は「It's 翔 time」をテーマに、7月4日(金)、5日(土)に、翔陽祭が行われました。4日(金)は全クラスのステージ発表、5日(土)は3年次生・同窓会・PTAによる模擬店、クラスパビリオン(クラス展示)を中心に一般公開されました。今年度は天気にも恵まれ、多くの来場者でにぎわいました。吹奏楽局・石狩太鼓局・軽音楽同好会の演奏、ダンス部や書道部のパフォーマンス、授業展示等、日ごろの練習・活動の成果を披露しました。



▲テーマパークを思わせるクラスパビリオン



▲年々クオリティが上がっているクラス垂れ幕。

企業・上級学校見学会

6月13日(金)、1年次で企業上級学校見学会を実施しました。午前中は地域企業を訪問し、実際の職場を見学しながら働く意義について学び、午後は大学見学と体験講座を通じて高等教育について理解を深めました。帰校後、生徒は内容をスライドにまとめ、翌週には各クラスでプレゼンテーションを実施しました。

1年次生はこの秋には、2年次以降の科目選択を決定することとなります。今回の見学会で、生徒たちは科目選択の判断材料を得るとともに、自分の生き方について深く考える貴重な機会を得ることができました。



▲北海道新聞社で説明を受ける1年次生

色とりどりの部活動

本校の大きな魅力として部活動の多様性が挙げられます。部活動は全国的に縮小傾向にありますが、翔陽高校では運動部・文化部ともに数多くの部活動が存在し、どの部も熱心に活動しています。また、全道大会や全国大会に出場する部活動も少なくありません。

今年度も多くの部活動が、日ごろの練習の成果を発揮しました。全道・全国大会の出場が決定している部活動は、次の通りです。(敬称略・7月7日現在)

全道大会出場 柔道部：男子個人戦では、札幌支部大会において3年次生1名がベスト16に入り、全道大会出場権を獲得しました。全道大会では女子も団体戦と個人戦に出場しました。

卓球部：男子シングルスで1年次生1名が代表決定戦を勝ち抜き、高体連全道出場を果たしました。

全国大会出場 ダンス部：全国高等学校ダンスドリル選手権大会北海道大会2025において、HIPHOP(女子)スモール部門で、全国大会出場を決めました。

ボート部：北海道高等学校ローイング選手権大会において、男子シングルスカル、女子シングルスカル、女子ダブルスカルでそれぞれ優勝しました。優勝クルーは広島で行われるインターハイインターハイに出場します。

【実は、こんなにある！翔陽高校の部活動】

◎文化系

吹奏楽局 美術・工芸部 書道部
石狩太鼓局 ワープロ同好会 新聞局 放送局
図書局 ボランティア局 科学部 生物部
演劇部 PC部 イラスト部 料理部
軽音楽同好会 文藝同好会

◎体育系

野球部 陸上競技部 サッカー部 ボート部
男子硬式テニス部 女子硬式テニス部
男子バスケットボール部
女子バスケットボール部
男子バドミントン部 女子バドミントン部
柔道部 卓球部 ダンス部 女子バレー部

陸上部：高体連札幌支部予選会にて、2年次生が男子砲丸投げで11位、3年次生も女子砲丸投げと女子円盤投げでともに優勝、男子4×100MRでも11位に入り全道大会に進出しました。全道大会では、3年次生が女子砲丸投げと円盤投げで入賞し、インターハイ出場を決めました。

なお、部活動はありませんが、少林寺拳法でも高体連全国大会に出場が決定しています。



▲全国大会出場を決めたボート部(茨戸川にて撮影)

本校は文化部も非常に盛んで、翔陽祭でも質の高い作品を発表していました。高文連をはじめとする種々の大会やコンクールに向けて精力的に活動しています。**吹奏楽局**は5月に**Sound Picnic Concert**を開催、8月の全日本吹奏楽コンクール北海道予選札幌地区大会に向けて練習に取り組んでいます。**書道部・美術工芸部**は8月の高文連支部大会に向けて、作品制作に励んでいます。